



2019年度 新潟県埋蔵文化財 センター講演会

【申し込み不要・無料】



蔵王遺跡の内行花文鏡
提供：佐渡市

各時代の専門家が遺跡の発掘成果を織り交ぜながら歴史を解説します。

第1回 4/21(日)	佐渡の古墳を考える — 蔵王遺跡の時代 — 講師：田中 祐樹(県埋蔵文化財センター)	【内容】佐渡では、「蔵王遺跡」の人々が活躍した古墳時代前期の古墳は見つかっていません。そこで今回は佐渡島内の遺跡に残された、さまざまな「状況証拠」から、「蔵王遺跡」の時代の古墳に迫ります。
第2回 5/19(日)	「邪馬台国時代」の 佐渡・蔵王遺跡 講師：鹿取 渉氏(佐渡市世界遺産推進課)	【内容】佐渡市蔵王遺跡は「邪馬台国・卑弥呼」と同時期の新潟県を代表する遺跡です。調査成果から判明した当時の暮らしや流通などについて御紹介します。
第3回 6/23(日)	布掘り柱掘形をもつ 掘立柱建物の特異性 講師：高橋 浩二氏(富山大学人文学部)	【内容】佐渡市蔵王遺跡で見つかった布掘り柱掘形をもつ掘立柱建物は新潟県では2棟しか見つかっていません。この特殊な構造について解説します。
第4回 7/7(日)	蔵王遺跡出土木製品が 語るもの 講師：樋上 昇氏(愛知県埋蔵文化財センター)	【内容】佐渡市蔵王遺跡の木製品には初期ヤマト王権に連なる日本列島各地の豪族居館に共通した要素が見られます。この特徴について解説します。
第5回 8/25(日)	蔵王遺跡出土鏡と新潟県に おける古墳時代の鏡 講師：高野 晶文氏(三条市地域経営課)	【内容】古墳時代の銅鏡はほとんどが古墳から出土します。佐渡市蔵王遺跡出土鏡を中心に古墳時代の新潟県内から出土した銅鏡について解説します。

第6回～11回は裏面をご覧ください。

手話通訳・要約筆記に対応します。

※御希望の方は開催日2週間前までに御連絡ください。

◇講演時間

13:50～15:20(受付開始 13:20)※講演時間・受付開始時間が昨年度と異なりますのでご注意ください。

◇定員 80人(定員になり次第締め切り。定員に達した場合お断りさせていただく場合がありますのでご了承ください。)

◇会場・お問い合わせ

新潟県埋蔵文化財センター 〒956-0845 新潟市秋葉区金津 93 番地 1
TEL:0250-25-3981 FAX:0250-25-3986 MAIL:niigata@maibun.net



いきいき
県民カレッジ

当センターは花と遺跡のふるさと公園内にある県立植物園の裏にあります。バスは「割町」や「美術館・植物園前」下車です

バス時刻【行き】	新潟交通観光バス	秋葉区バス
行先	金津行	新津駅西口行
新津駅東口発	9:55	13:10
割町	10:07	—
美術館・植物園前	—	13:34

バス時刻【帰り】	秋葉区バス
行先	新津駅東口行
美術館・植物園前	15:41
新津駅東口着	16:05

※新潟交通観光バスは時刻が変更になる場合があります。詳しくは京ヶ瀬営業所 (TEL0250-67-4777) へお問い合わせください。

※秋葉区バスの詳細は秋葉区のホームページ等をご覧ください。



2019年度

新潟県埋蔵文化財センター講演会

【申し込み不要・無料】



各時代の専門家が遺跡の発掘成果を織り交ぜながら歴史を解説します。

第6回 9/8(日)	糸魚川産ヒスイの産状 ープレート境界からの贈り物ー 講師:竹之内 耕氏(フォッサマグナミュージアム)	【内容】プレート境界の地下深部で誕生したヒスイは地殻変動によって地表まで運ばれました。ヒスイを手に入れた縄文人は世界最古のヒスイ文化を花開かせます。この糸魚川のヒスイについて解説します。
第7回 10/20(日)	ヒスイから見た縄文時代 講師:栗島 義明氏 (明治大学黒耀石研究センター)	【内容】縄文人が最も大切に扱い、高い価値を認めたものがヒスイ製の装身具でした。ヒスイの加工や流通、そしてどんな人物が身に付けたのかをさぐり、縄文文化の特徴を考えます。
第8回 11/10(日)	新潟県における弥生ヒスイ製勾玉 の生産と周辺地域との交流 講師:笹澤 正史氏(株式会社吉田建設)	【内容】新潟県における弥生時代のヒスイ製勾玉の生産は、中期の中頃に本格的に始まります。ヒスイ製勾玉の流通を介しての、隣接地域や遠隔地との交流などについて解説します。
第9回 12/8(日)	ヒスイ製装身具の終焉と 石製模造品の出現 講師:金田 拓也氏(新潟市歴史文化課)	【内容】古墳時代における、新潟県内のヒスイ製装身具の終焉と石製模造品の出現から衰退まで、古墳時代の石製品の多様性について考えます。
第10回 1/26(日)	糸川中道遺跡から考える古墳時代の 地域社会とネットワーク 講師:小野本 敦(県埋蔵文化財センター)	【内容】南魚沼市糸川中道遺跡は新潟県を代表する飯綱山古墳群の傍らに営まれた集落です。発掘調査とその後の整理作業によってみえてきた古墳群と集落の関係などを解説します。
第11回 2/23(日)	山口遺跡から見た 古代の沼垂郡 講師:石川 智紀(県埋蔵文化財センター)	【内容】古代の沼垂郡は、官衙関連遺跡が点在し、笹神丘陵などと河川交通で繋がった地域と考えられています。そのような環境の中で山口遺跡が持つ役割について、調査成果から考えます。

第1回～5回は表面をご覧ください。

手話通訳・要約筆記に対応します。

※御希望の方は開催日2週間前までに御連絡ください。

◇講演時間 13:50～15:20(受付 13:20 から)

◇定員 80人(定員になり次第締め切り。定員に達した場合お断りさせていただく場合がありますのでご了承ください。)

◇会場・お問い合わせ

新潟県埋蔵文化財センター 〒956-0845 新潟市秋葉区金津 93 番地 1
TEL:0250-25-3981 FAX:0250-25-3986 MAIL:niigata@maibun.net



当センターは花と遺跡のふるさと公園内にある県立植物園の裏にあります。バスは「割町」や「美術館・植物園前」下車です

バス時刻【行き】	新潟交通観光バス	秋葉区バス
行先	金津行	新津駅西口行
新津駅東口発	9:55	13:10
割町	10:07	—
美術館・植物園前	—	13:34

バス時刻【帰り】	秋葉区バス
行先	新津駅東口行
美術館・植物園前	15:41
新津駅東口着	16:05

※新潟交通観光バスは時刻が変更になる場合があります。詳しくは京ヶ瀬営業所 (TEL0250-67-4777) へお問い合わせください。

※秋葉区バスの詳細は秋葉区のホームページ等をご覧ください。